



LST NEWS

No.15

NOVEMBER 2008

第15号(平成20年11月)

Universite Claude Bernard Lyon 1 滞在記

コンピュータサイエンス専攻 准教授 吉田哲也

今年3月16日から7月25日まで、Canon Foundation in Europe Research Fellowshipの支援を得て、仏国リヨンにあるUniversite Claude Bernard Lyon 1(以下、リヨン1大学と略します)に滞在して研究する機会をいただきました。リヨン1大学は、20世紀後半にリヨン大学が手狭になった際理工系の学部をリヨン郊外に移転して新設された、広大なキャンパスを持つ大学です。私はこのリヨン1大学のHacid教授の研究室に滞在させていただきました。Hacid教授はデータベースやウェブサービスに関する研究で成果を挙げている著名な研究者です。日本学术振興会先端研究拠点事業(代表:田中謙教授)を通じて以前この研究室に短期間滞在したご縁で、今回も滞在させていただきました。ここではその滞在記とでも言えるものを紹介させていただきます。

リヨンはいわゆる食通の街として有名なフランス中部の街ですが、2つの川が市内を流れて交易に適していたためか、古くからヨーロッパにおける交通の要衝として栄えた街です。ローマ時代の遺跡も多く残っており、古代劇場は今でも夏に開催されるフェスティバルなどの会場として使用されています。旧市街には中世の街並みが多く残っており、世界遺産にも登録されています。旧市街を望むフルヴィエールの丘の上にはノートルダム聖堂が建ち、丘の上からのリヨンの街並みは非常に美しいです。織物の街としても有名で、日本とも交易が盛んに行われていたとのことです。

滞在先の研究室はキャンパス内の3階建ての建物にあります。講義室がある1、2階へは自由に出入りできますが、おそらくは防犯上の理由から3階への出入



フルヴィエールの丘からのリヨンの街並み



旧市街の教会

りにはカードキーが必要です。防犯の意識は非常に高く、夜9時になると基本的には建物は閉鎖されてしまいます。ただ、個人的な印象ですが、比較的マイペースで研究を進める方が多く、6時頃には多くの方が帰宅はじめ、7時以降には残っている方が少ないため、特に支障はないようでした。研究の効率が良いことや、

朝は比較的早く出勤されることも関係しているのかもしれません。

滞在中には、研究だけでなく、日常生活を通じてフランスの文化や雰囲気などにも触れさせていただきました。のんびりした国民性、ということは聞いておりましたが、近所のスーパーなどで長く遅々として進まないレジの列に並ぶたびに、なぜもっとカイゼンしないのだろう？と思うと共に、いろいろしないで待つというのも人生を楽しむ秘訣の一つなのかな、と妙に感心したりもしました。また、のんびりしているかと思えば、歩行者は信号をあまり遵守せずに急いで（横断歩道に限らず）道路を渡ることも多いです。たとえ赤信号であっても、車が通っているにも関わらず果敢にすり抜けようとする光景もよく見かけました。道路を渡ろうとして車の列がなかなかとぎれないことに腹をたてた初老の女性が車をたたいて怒りをあらわにする様子を目の当たりにしたときには本当に驚きました。かのトルシエ監督の、なぜ日本人は信号を守るのかという趣旨の批評を伝え聞いたことがあります、国民性の違いを実感いたしました。

滞在中の研究活動についてはここでは割愛させていただきました。しかし、この滞在でお会いした方々と現在も交流させていただいていることが、私にとってとても大きな収穫であったと思っております。

末筆ながら、今回の滞在の機会をえていただきました多くの方々、不在の間に支えていただきました多くの方々に、この場をお借りしてお礼申し上げます。

平成 21年度大学院入学試験

平成 21年度北海道大学大学院情報科学研究科博士後期課程ならびに修士課程の入学試験が、8月19日、20日の両日実施されました。入試結果は9月2日に発表され、下表の212名（博士後期課程24名、修士課程188名）が合格しました。

平成 21年度専攻別合格者数

専 攻	定 員	合 格 者 数
複合情報学	2 4	3 0 [2]
	4	4
コンピュータサイエンス	2 4	2 7 [1]
	8	4 [1]
情報エレクトロニクス	3 9	3 8
	8	4

生命人間	3 3	2 3
情報科学	6	2
メディア	3 0	3 7
ネットワーク	8	6 [1]
システム	2 7	3 3
情報科学	8	4
計	1 7 7	1 8 8 [3]
	4 2	2 4 [2]

- ・上段：修士課程、下段：博士後期課程
- ・[]: 留学生（内数）

また、同時に開かれた平成 20年 10月入学の外国人留学生及び社会人を対象とする入試では、修士課程 2名（複合情報学専攻、メディアネットワーク専攻）博士後期課程 6名（複合情報学専攻、生命人間情報科学専攻、メディアネットワーク専攻、システム情報科学専攻）社会人特別選抜 4名（生命人間情報科学専攻、メディアネットワーク専攻）が合格しました。

なお、今後専攻別に二次募集を行うかどうかが決定されます。二次募集を行う場合の日程は次の通りです（詳細は募集要項でお確かめ願います）。

平成 20年 12月上旬 募集要項配布開始
平成 21年 1月上旬 出願資格予備審査申請期間
平成 21年 1月下旬 願書受理
平成 21年 2月 19日 休)~ 20日 金) 入学試験

情報エレクトロニクス学科コース分属

平成 20年度の情報エレクトロニクス学科コース分属結果が9月 24日に発表されました。対象者は在籍期間および修得単位数の要件を満たした学部2年次学生 184名および留学生 6名、計 190名です。各コースへの分属数は下表の通りです。

平成 20年度情報エレクトロニクス学科 コース分属結果

コース	標準定員	分属数
情報工学	2 5	2 3
コンピュータサイエンス	2 5	2 4
電子情報	4 0	4 4 (5)
生体情報	3 3	3 3 (1)
メディアネットワーク	3 0	3 5
システム情報	2 7	3 1
計	1 8 0	1 9 0 (6)

分属者数 () 内の数字は留学生数で内数

グローバルCOEのRA採用について

平成 19年度より推進しているグローバル COE『知の創出のための次世代『基盤拠点』では、博士後期課程の学生への教育・研究支援事業として、リサーチ・アシスタント(RA)への採用と国際会議等への派遣支援を行っています。拠点形成事業の中心となる異分野共同プロジェクトは事業推進担当者の教員を中心に進めていますが、多様なプロジェクトを可能にするためには本研究科全体のアクティビティを向上する必要があり、本事業では本研究科に所属する全学生を支援の対象としています。アルバイト等に時間を割かず、研究活動に専念できるように、350時間/半期の勤務時間のRA(時給1350円)を基本に、国際会議への参加状況や論文の執筆状況等に応じて、より高い活動が期待される学生は480、560、760時間/半期のRAに採用しています。本研究科の学生のみなさんは、世界の優れた研究者と肩を並べた活動ができるように、本事業を活用してください。

<http://www.gcoe.isthokudai.ac.jp>

情報科学研究科携帯用ページについて

このたび、情報科学研究科携帯用ページと情報エレクトロニクス学科携帯用ページを開設しました。携帯用ページへは、携帯電話に下記のURLを入力する、もしくはパソコン用のホームページに設置しましたQRコードをカメラ用携帯で読み取ることでアクセスすることができます。

携帯用ページには、研究科および学科の概要、講義情報、入試情報等を掲載していますのでご利用ください。



情報科学研究科携帯用サイト

<http://www.isthokudai.ac.jp/mobile/>



情報エレクトロニクス学科携帯用サイト

<http://infoeng.hokudai.ac.jp/mobile/>

情報科学研究科ホームページ

研究科 TOP > ニュース

http://www.isthokudai.ac.jp/index_jp.php

夏季期間における工学系建物の閉鎖について

北海道大学工学系イノベーションフォーラム 2008」

のご案内

9月 19日東京で開催 参加申込受付中

公開講座のお知らせ～くらしの中の情報科学

平成 20年度北榆会母校交流会 開催のご案内(北榆会)

英語サイトをリニューアルしました。

全学停電に伴う情報科学研究科サイトの停止について

ST NEWS第14号を掲載しました。

北海道大学 情報科学研究科グローバル COEプログラム「知の創出を支える次世代『基盤拠点』若手研究者支援のための産学協同 GCOEシンポジウム 10月3、4日開催

第116回 8大学工学部長会議報告

北海道大学・忠南大学校ジョイントシンポジウムを開催します。

広報ホームページ

研究科 TOP > 広報 > 工学研究科・情報科学研究科・工学部広報 > ニュース

<http://www.eng.hokudai.ac.jp/news/publication/news/>

工学部編入学(特別選抜)試験実施

平成20年度文部科学省科学研究費補助金交付決定研究題目一覧(工学研究科)(PDF)

平成20年度北工会大運動会・懇親会開催

工学研究科の菊池孝史さんが第23回キングスカップ・セパタクローワorld選手権大会に出場

夏季休暇中の事故防止について

オープンキャンパス実施

工学研究科・工学部・情報科学研究科の本年度予算決定

工学部編入学(一般選抜)試験実施

大学院情報科学研究科入学試験実施

工学研究科・情報科学研究科が北海道立工業試験場との連携・協力に関する協定を締結

【人事異動】

教授]

(採用) 平成20年10月1日

村山 明宏

情報エレクトロニクス専攻

集積システム講座

(東北大学多元物質科学研究所 准教授より)

平田 拓

生命人間情報科学専攻

生体システム工学講座

(山形大学大学院理工学研究科 教授より)

【客員教授】

(採用) 平成 20年 10月 1日	
松本 一也	システム情報科学専攻 (連携) 実システム開発講座 (住友電気工業株式会社情報通信研究所)

2008年 9月 17日 西村 寿彦

メディアネットワーク専攻 助教

電子情報通信学会 通信ソサイエティ 活動功労賞 「通信ソサイエティ 投稿論文の査読委員としての貢献」

【客員准教授】

(採用) 平成 20年 11月 1日	
妹尾 裕之	システム情報科学専攻 (連携) 実システム開発講座 (日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社)

【助教】

(採用) 平成 20年 6月 16日	
村澤 尚樹	生命人間情報科学専攻 (協) 生体機能工学講座 (北海道大学電子科学研究所 博士研究員より)

【事務職員等】

(転出) 平成 20年 9月 30日	
折田 朋子	総務担当係長 (学術国際部研究協力課 係長へ)
(異動) 平成 20年 9月 30日	
内田めぐみ	教務担当主任 (工学研究科・工学部 大学院担当へ)
(転入) 平成 20年 10月 1日	
蟹口 宏幸	総務担当係長 (学務部入試課より)
佐藤 有希	教務担当主任 (工学系教育研究センター事務室より)
(採用) 平成 20年 10月 1日	
小山内詔子	総務担当 技術職員 (新規採用)

【受賞】

2008年 6月 20日	大谷 英行
コンピュータサイエンス専攻 修士課程 1年	
情報処理学会 データベースシステム研究会 DB2008フォーラム DBS研 / F研合同研究会 学生奨励賞 「極小出現区間を用いた頻出エピソード発見アルゴリズムの高速化」	

2008年 6月 27日	小野里 雅彦
システム情報科学専攻 教授	
総務省消防庁 消防庁長官表彰 (優秀賞) 「災害用係留型情報気球 hfoBalloon」	

2008年 7月 4日	小野里 雅彦
システム情報科学専攻 教授	
(社)日本機械学会生産システム部門 優秀講演論文表彰 「複素生産空間のためのユニバーサル・ポインティングとサイバー・アノテーション」	

2008年 9月 6日	近藤 大輔
システム情報科学専攻 修士 1年	
(社)精密工学会 2008年度北海道支部学術講演会 優秀プレゼンテーション賞 「計測データからの三次元規則パターン認識手法の研究」	

新教員紹介

1. 最終学歴および学位、2. 前職、3. 専門分野

村山 明宏 教授



情報エレクトロニクス専攻集積システム講座

1. 平成 7年東北大学大学院工研究科応用物理学専攻社会人博士課程修了、博士(工学)
2. 東北大学多元物質科学研究所 准教授
3. ナノ材料応用物理学

平田 拓 教授



生命人間情報科学専攻生体システム工学講座

1. 平成 5年東京工業大学大学院総合理工学研究科博士後期課程修了、博士(工学)
2. 山形大学大学院理工学研究科 教授
3. 磁気共鳴分光及びイメージング

村澤 尚樹 助教



生命人間情報科学専攻(協)生体機能工学講座

1. 平成 18年北海道大学大学院情報科学研究科博士後期課程修了、博士(情報科学)
2. 北海道大学電子科学研究所 博士研究員
3. 応用光学、応用物理学

I S T N E W S No.15 平成 20年 11月 17日 発行
発行: 北海道大学大学院情報科学研究科 広報・情報室
(編集担当: 吉岡真治)



情報科学研究科ホームページ

<http://www.ist.hokudai.ac.jp/>